

さいだいじきゅうけいだい 西大寺旧境内で発見された埋蔵遺構

西大寺旧境内 奈良市西大寺本町

平成15年度に、奈良市教育委員会が西大寺旧境内で実施した発掘調査で、古代の埋蔵遺構が見つかりました。発見された場所は、現在の西大寺の北北東約300m付近にあります。この場所は、西大寺の伽藍復原では食堂院跡推定地に該当しています。食堂院とは、僧侶が食事を摂る場所です。

発掘調査は、合計332m²の発掘区を設けて実施しました。その結果、古代の埋蔵遺構と凝灰岩列、掘立柱穴列、礎石掘付穴、条坊（道路）側溝、そして、中世の土坑などの遺構が見つかりました。

今回の調査では、埋蔵遺構は合計28基分を確認しました。埋蔵は、約1.5mの間隔で据えられており、その列は発掘区外の北側および南側へと延びています。遺構の様子からみて、少なくとも調査地内では東西4列、南北13列分の埋蔵の存在が想定されます。

埋められている甕は、いずれも古代の須恵器で、胴回りの径は1.0~1.2mくらいと推測されます。発掘調査で検出された時には、下部の約1/3の部分が地中に埋まった状況で、その内部には甕自体の破片や古代の軒瓦などが多く落ち込んでいました。その中には、わずかながら土師器も含まれていて、遺構が埋まっていた年代を特定する手がかりとなりました。これらの埋蔵遺構が廃絶するのは、およそ9世紀末~10世紀の初頭頃と考えられます。

また、この埋蔵遺構の西側で、埋蔵遺構に並行する形で南北に連なる凝灰岩列も検出しました。これらの凝灰岩列は、残り具合があまり良くなく、詳細なことはわかりませんが、平城京内寺院の主要伽藍の基壇でよくみられるような積み方ではないようです。ただし、一部には板状の石を置くなど、階段の跡ではないかと見受けられるような場所もあり、何らかの建物の外周を形成していた基壇の一部である可能性があります。そして、この凝灰岩列が廃絶する時期は、遺物の年代からみて、やはり9世紀末から10世紀初頭頃とみられます。

調査では、遺構の存する面が後世に削平されて



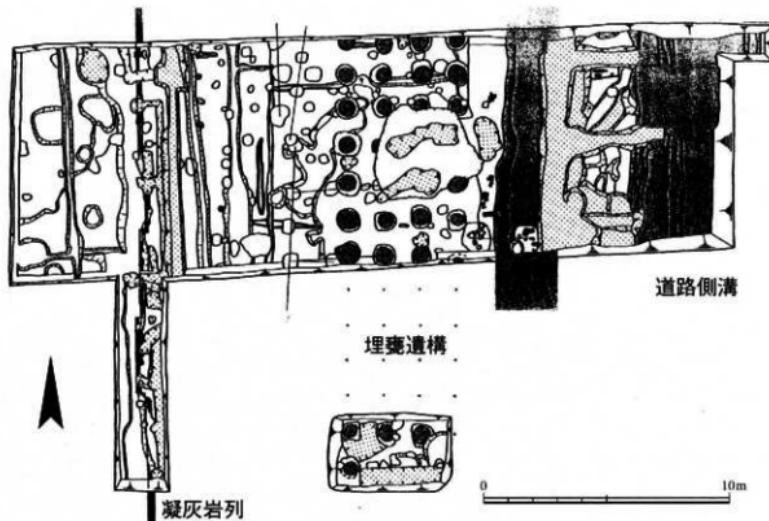
調査位置図 (1/20,000)

おり、埋蔵遺構群と凝灰岩列との関係を直接知ることはできませんでした。しかし、二つの遺構の位置関係や廃絶した時期がほぼ同じであることから考えると、これらは一体の遺構であった可能性が高いのではないかと推測されます。

ところで、創建当時の西大寺の伽藍の規模などを伝える「西大寺資材流記帳」(宝龟十一〔780〕年)によりますと、食堂院地区には厨(台所)や倉という名称の付いた建物がいくつかあったことが記されています。そのように考えていくと、調査地はこの食堂院地区にあたるのですから、当然、厨や倉に伴って何らかの貯蔵施設があった可能性も推測できます。

埋蔵遺構は、これまでに平城宮内や平城京内でもいくつかみつかっており、食料などの貯蔵を目的とした施設であったものと考えられていますので、今回の埋蔵遺構群の発見は、それが「西大寺資材流記帳」に書かれている建物や施設そのものであるかどうかは別として、食堂院に関連性のある貯蔵施設であったことは充分に考えられます。

なお、今回の埋蔵遺構群の規模は、平城宮・京内で確認されている例と比較すると、かなり大規模であることがわかります。こうしたことから、当時の西大寺食堂院内の様相を示す遺構として、きわめて注目されます。



遺構平面図 (1/200)

平城宮・平城京で確認された理窯遺構

遺構・施設名	遺構番号	時期	方位	付属施設	形状	遺構・施設名	時期	方位	付属施設	形状	遺構・施設名	時期	方位	付属施設	形状	
1 理窯	SB00705	奈良時代	西北	5×2	16	43 理窯	SB00900	奈良時代～後	東南	(5) × 2	20	51 理窯	SB01000	奈良時代～後	東南	(5) × 2
2 理窯	SB00907	奈良時代	西北	6×2	15~16	44 理窯	SB01100	奈良時代～後	東北	(5) × 2	6	52 理窯	SB01200	奈良時代～後	東北	(5) × 2
3 理窯	SB01100	奈良時代	西北	5×4	11	45 理窯	SB01302	奈良時代～後	東北	7×2	32	53 理窯	SB01400	奈良時代～後	東北	(3) × 2
4 理窯	SB01200	奈良時代	西北	6×2	21~23	46 理窯	SB01502	奈良時代～後	東北	(3) × 2	5	54 理窯	SB01600	奈良時代～後	東北	(3) × 2
5 理窯	SB02004	奈良中期	西北	5×2	9~10	47 理窯	SB01702	奈良時代～後	東北	3×2	12	55 理窯	SB01800	奈良時代～後	東北	3×2
6 理窯	SB02100	奈良中期	西北	5×2	9	48 理窯	SB01902	奈良時代～後	東北	3×2	11	56 理窯	SB02000	奈良時代～後	東北	3×2
7 理窯	SB02002	奈良中期	西北	5×2	4	49 理窯	SB02102	奈良時代～後	東北	3×2	10	57 理窯	SB02200	奈良時代～後	東北	3×2
8 理窯	SB02119	奈良中期	西北	6×2	11~26	50 理窯	SB02302	奈良時代～後	東北	3×3	16	58 理窯	SB02400	奈良時代～後	東北	3×2
9 理窯	SB02011	奈良中期	西北	7×4	14	51 理窯	SB02502	奈良時代～後	東北	3×2	15	59 理窯	SB02600	奈良時代～後	東北	3×2
10 理窯	SB02404	奈良後期	西北	7×2	28	60 理窯	SB02702	奈良時代～後	東北	6×2	12~15	60 理窯	SB02800	奈良時代～後	東北	(6) × 2
11 理窯	SB02700	奈良後期	西北	7×2	13~25	61 理窯	SB02902	奈良時代～後	東北	6×2	12	61 理窯	SB03000	奈良時代～後	東北	6×2
12 理窯	SB02805	奈良後期	西北	7×2	26	62 理窯	SB03102	奈良時代～後	東北	6×2	12	62 理窯	SB03200	奈良時代～後	東北	6×2
13 理窯	SB02907	奈良後期	西北	6×2	27	63 理窯	SB03302	奈良時代～後	東北	(3) × 2	12	63 理窯	SB03400	奈良時代～後	東北	(3) × 2
14 理窯焼成場	SB03000	奈良後期	西北	11×3	6	64 理窯	SB03502	奈良時代～後	東北	3×4	4	64 理窯	SB03600	奈良時代～後	東北	3×4
15 理窯焼成場	SB03100	奈良後期	西北	7×4	26	65 理窯	SB03702	奈良時代～後	東北	7×2	12	65 理窯	SB03800	奈良時代～後	東北	7×2
16 理窯焼成場	SB03200	奈良後期	西北	5×4	26	66 理窯	SB03900	奈良時代～後	東北	9×3	11	66 理窯	SB04000	奈良時代～後	東北	9×3
17 理窯焼成場	SB03300	奈良後期	西北	5×4	21	67 理窯	SB04102	奈良時代～後	東北	6×3	10	67 理窯	SB04200	奈良時代～後	東北	6×3
18 理窯焼成場	SB03400	奈良後期	西北	7×3	30	68 理窯	SB04302	奈良時代～後	東北	3×2	5	68 理窯	SB04400	奈良時代～後	東北	3×2
19 内裏跡地	SB03500	平安初期	西北	7×4	16	69 理窯	SB04502	奈良時代～後	東北	5×2	15	69 理窯	SB04600	奈良時代～後	東北	5×2
20 里・大内御殿跡	SB03600	平安初期	西北	4×2	18	70 理窯	SB04702	奈良時代～後	西北	4×2	12	70 理窯	SB04800	奈良時代～後	西北	4×2
21 内裏側	SB04000	奈良中期	西北	1×8×2	26	71 理窯	SB04902	奈良時代～後	西北	5×3	16	71 理窯	SB05000	奈良時代～後	西北	5×3
22 内裏側	SB04200	平安初期	西北	6×3	15	72 理窯	SB05102	奈良時代～後	西北	5×3	10	72 理窯	SB05200	奈良時代～後	西北	5×3
23 人形焼	SB04700	奈良中期	西北	5×4	18	73 理窯	SB05302	奈良時代～後	西北	5×2	11	73 理窯	SB05400	奈良時代～後	西北	5×2
24 人形焼	SB04900	奈良中期	西北	7×2	25	74 理窯	SB05502	奈良時代～後	西北	5×3	2	74 理窯	SB05600	奈良時代～後	西北	5×3
25 人形焼	SB05000	奈良中期	西北	7×2	26	75 理窯	SB05702	奈良時代～後	西北	5×3	36~52	75 理窯	SB05800	奈良時代～後	西北	5×3
26 人形焼	SB05100	奈良中期	西北	6×4	31	76 理窯	SB05902	奈良時代～後	西北	5×2	17	76 理窯	SB06000	奈良時代～後	西北	5×2
27 人形焼	SB05200	奈良中期	西北	7×3	35	77 理窯	SB06102	奈良時代～後	西北	5×2	16	77 理窯	SB06200	奈良時代～後	西北	5×2
28 人形焼	SB05300	奈良中期	西北	5×4	17	78 理窯	SB06302	奈良時代～後	西北	5×2	20	78 理窯	SB06400	奈良時代～後	西北	5×2
29 人形焼	SB05400	奈良中期	西北	5×3	5	79 理窯	SB06502	奈良時代～後	西北	3×2	6	79 理窯	SB06600	奈良時代～後	西北	3×2
30 4×2・2×1・2	SB05500	奈良中期	西北	—	—	80 理窯	SB06702	奈良時代～後	西北	5×3	6	80 理窯	SB06800	奈良時代～後	西北	5×3
31 4×2・4・2	SB05600	奈良中期	西北	(2)×2	4	81 理窯	SB06902	奈良時代～後	西北	4×2	6	81 理窯	SB07000	奈良時代～後	西北	4×2
32 4×2・4・2	SB05700	奈良中期	西北	(3)×2	8	82 理窯	SB07102	奈良時代～後	西北	5×2	12	82 理窯	SB07200	奈良時代～後	西北	5×2
33 4×2・4・7	SB057	奈良中期	西北	5×3	22	83 理窯	SB07302	奈良時代～後	西北	4×2	6	83 理窯	SB07400	奈良時代～後	西北	4×2
34 在3・1・1・7	SB05800	奈良中期	西北	4×2	5	84 理窯	SB07502	奈良時代～後	西北	5×3	(5)~(11)	84 理窯	SB07600	奈良時代～後	西北	5×3
35 在3・1・1・7	SB05900	奈良中期	西北	3×2	6	85 理窯	SB07702	奈良時代～後	西北	5×3	5	85 理窯	SB07800	奈良時代～後	西北	5×3
36 在3・1・1・7	SB06000	奈良中期	西北	3×2	4	86 理窯	SB07902	奈良時代～後	西北	5×2	20	86 理窯	SB08000	奈良時代～後	西北	5×2
37 63・1・1・7	SB067	奈良中期	西北	5×2	5	87 理窯	SB08102	奈良時代～後	西北	(4)×2	4	87 理窯	SB08200	奈良時代～後	西北	(4)×2
38 63・1・1・7	SB068	奈良中期	西北	4×2	6	88 理窯	SB08302	奈良時代～後	西北	5×2	20	88 理窯	SB08400	奈良時代～後	西北	5×2
39 63・1・1・7	SB069	奈良中期	西北	(2)×2	8	89 理窯	SB08502	奈良時代～後	西北	5×2	15	89 理窯	SB08600	奈良時代～後	西北	5×2
40 63・1・1・10	SB07000	奈良中期	西北	1×9×2	4	90 理窯	SB08702	奈良時代～後	西北	5×2	15	90 理窯	SB08800	奈良時代～後	西北	5×2
41 63・1・1・14	SB07000	奈良中期	西北	1×9×2	6	91 理窯	SB08902	奈良時代～後	西北	5×2	20	91 理窯	SB09000	奈良時代～後	西北	5×2
42 63・2・2・6	SB09500	奈良中期	西北	9×2	12~20	92 理窯	SB09102	奈良時代～後	西北	4×3	6~5	92 理窯	SB09200	奈良時代～後	西北	4×3

玉田芳英『平城宮の酒造り』『文化財論叢叢書』奈良文化財研究所 2002 より一部抜粋
(1~29は平城宮跡で、官銘など、その他は平城京跡で、条・坊・坪で示した)